

広告特集 企画・制作 朝日新聞社メディアビジネス局



朝日新聞
Reライフ FESTIVAL
人生充実

新しく始めたいこと、深めたいこと。毎日に喜びを与えてくれること。これからの人生をもっと輝かせてくれること。人生の成熟期を生きるアクティブ世代を応援します。

お金という誰もが関わるテーマに、興味深く聞き入る人が多かった個人向け国債セミナー。実践的な内容が多く、納得してうなずく姿がそこかしこで見られました。

収入ダウンに備えて必ず支出の見直しを

木佐 人生100年時代という言葉をよく聞くようになり、長引く老後にどのような準備をすればよいのでしょうか。

深田 まずは「60歳以降の収入ダウンの三つの崖」について話しましょう。収入が緩やかにダウンするのではなく、急にガクッと下がるのです。①定年退職後に再雇用で働いたとしても、



フリーアナウンサー
木佐彩子さん

きさ・あやこ / 1971年東京生まれ。青山学院大学卒業。94年フジテレビに入社。4月からNHKワールド「J-Arena」、政府インターネットテレビ「徳光・木佐の知りたいニッポン」などに出演。

賃金は大幅にダウン。②65歳を迎えて年金生活に入ると、また収入がダウンします。そして問題は③配偶者の死亡です。一人になったときの収入ダウンを想定していない人が多いのです。

木佐 言われてみれば、確かにそうですね。

大切な資産の運用を人まかせにしない

深田 私がいつも提唱しているのが、収入が下がるたびに支出をリセットすること。たとえば医療費の心配は、まず高額療養費に頼むのが、まとまったお金を手にする

木佐 できれば定年後の資金を増やしたいですね。

深田 そうですね。でも注意したいのが、まとまったお金を手にする

にするとき、みながかかる「資産運用病」です。

木佐 預貯金ではお金が増えない時代、ちょっと気持ちがかわります……。

深田 退職後の投資デビューで特に多いのが、金融機関に勧められるままに商品を買って資産を減らしてしまうパターンです。金融機関に出向く前に、無理なく投資できるのはどのくらいの額か、きちんと検討してから自分で商品を選びましょう。また、投資には手数料がかかります。ですから、手数料が安い商品を選んでほしいと思います。これを踏まえ、20万〜30万円を投資して後で買い足す「つまみ食い投資」からデビュー

どうする？ 退職後資金

安全確実な個人向け国債という選択肢

退職後資金の不安を解消するために投資も考えたいけれど、為替や株はリスクもあるし難しそう。3月2日に行われた「人生100年時代がらみ備える！個人向け国債セミナー」では、ファイナンシャルプランナーの深田晶恵さんを講師に、Reライフ世代の来場者と木佐彩子さんが「退職後のお金の常識」と「個人向け国債」について学びました。0.05%の最低金利と元金が保証される個人向け国債が退職後資金の預け先として安全で着実な選択肢の一つであることなどの講義に、来場者は聞き入りました。

〔紙上採録〕木佐彩子さんとは「人生100年時代がらみ備える！個人向け国債セミナー」

変動・固定を選ぶ個人向け国債の利点

木佐 堅実な運用先というのがあるのでしょうか。

深田 退職金の預け先の一つとして「個人向け国債」があります。国が発行する債券で、最低金利の保証があり、今は預貯金よりも高い金利が期待できます。

木佐 個人向け国債のパンフレットやホームページを見ると特徴は大きく六つありますね。まずは①元本割れがないということ。そして②年率0.05%の最低金利保証、③月々1万円から購入が可能、④発行後1年以上経過すれば中途

換金も可能、⑤ペーパーレスで盗難・紛失の心配がない、⑥変動金利型と固定金利型が選べる……。変動金利と固定金利の違いは何ですか？

深田 個人向け国債には「変動10」「固定5」「固定3」の3タイプがあります。数字は満期までの年数で、変動というのは金利が実勢金利に合わせて変わるタイプ。固定は発行時の金利のまま利子がもらえる



ファイナンシャルプランナー
深田晶恵さん

ふかた・あきほ / 特定の金融商品・保険商品を販売しない「生活設計塾クルー」で個人向けのコンサルティングを行う。近著は「サラリーマンのための「手取り」が増えるワザ65」。「Reライフ」で「なるほどマネー」連載中。

の金利のまま利子がもらえるタイプです。

木佐 変動と固定、どちらを選べばよいのでしょうか？

深田 今なら変動の方がいいですね。日銀がマイナス金利政策をとっている現在、金利は底の状態です。今後少しずつ景気が上向きになって金利が上がってきたらその波に乗り、中途換金して固定タイプに買い換えるのもよいでしょう。

木佐 個人向け国債は、そんなことができるのです。でも先のことばかりから不安を感じてしまいます。

深田 それではヒントをお教えしましょう。私の持論に「安全確実な商品は金利の小波を待つ」というのがあります。

木佐 小波ですか？

深田 具体的には金利が税引き後1%ぐらいの状態を小波と呼んでいます。朝日新聞の経済面に長期金利が出ていて、これが1%後半になったら変動から固定に変える目安です。

木佐 メリットもリスクもあるのが金融商品ですが、最低金利と元金が保証され安全で着実と言われている個人向け国債について、このセミナーで学ぶことができました。

半年ごとに金利が変化 **変動金利型**

実勢年利の動きに応じて半年ごとに適用利率が変わり、そのときどきの受取利子の金額が増減します。

変動10

「変動10年」の金利イメージ

10年固定利付国債の実勢金利
変動10年の適用利率
最低金利保証(適用利率の下限)

※グラフはイメージであり、今後の金利状況を予測するものではありません。

発行時の金利きっちり続く **固定金利型**

発行時の利率で固定3年なら3年間、固定5年なら5年間利子がもらえるので、発行された時点で最終的な投資結果がわかります。

固定3
固定5

「固定5年」の金利イメージ

市場実勢利回りに基づき計算した利付5年の固定利付国債の想定利回り
固定5年の利率
最低金利保証(金利の下限)

※固定3年の利率は、基準金利-0.03%です。

財務省

セカンドライフを楽しみたいから、国債でしっかりスタンバイ。

個人向け国債

JAPANESE GOVERNMENT BONDS

安心、しかも
お手軽。

0.05% (年率) の最低金利保証

元本割れなし

中途換金も1万円からOK

※発行後1年以上経過で換金可能です。※直前2回分の各利子(税引前)相当額×0.79685が差し引かれます。

1万円から購入可能

ペーパーレスで安心

年12回(毎月発行)

変動10 **固定5** **固定3**

詳しくは特設サイトで! [個人向け国債](#) [検索](#)